

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立湊中学校

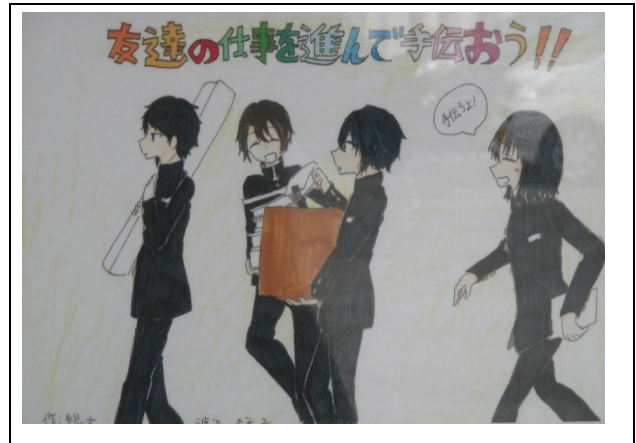
○ 私たちの取組

いじめ根絶に向けた提言の全校唱和

○ 取組の紹介

生活委員会が全校に働き掛けて次のような取組を行いました。「挨拶の励行」と「友達との協力」についてまとめた文章を全校生徒で「唱和」し、相手を思いやり尊重することを確認しました。

総合文化部では、唱和する言葉は常に意識して生活できるように短く簡潔なものにしました。「相手の目を見て話そう」「進んで友達の仕事を手伝おう」の2つです。これにイラストを添えたポスターを制作し、覚えやすく親しみのある「唱和」に仕上げることができました。昇降口に掲掲示していつでも目に触れるようにしています。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

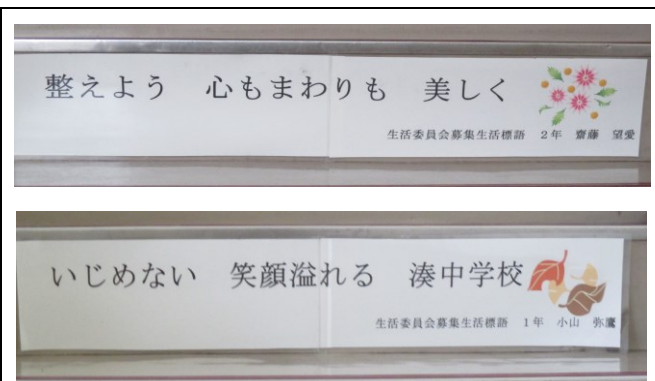
石巻市立湊中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止標語」「生活標語」の作成

○ 取組の紹介

全校生徒で「いじめ防止標語」を作成しました。また、生活委員会で明るい学校生活を送るために「生活標語」を作成しました。作成した標語は生活委員会で大きく印刷し、ラミネートをした上で階段に掲示し、毎日校舎内を移動する際に目に触れるようにしています。また、書道が得意な生徒にお願いをして大きく墨書して校舎内に掲示しております。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立稲井中学校

○ 私たちの取組

「Good Point Card」の掲示

○ 取組の紹介

稲井中学校では、毎月テーマを決め、「Good Point Card」の掲示をしています。階段の踊り場スペースに学年関係なく、自由にお互いのよさや自分の目標を書き記します。特に、行事と関連させることが多く、互いのよさを認め合うことを目的に貼り出しています。稲井中学校の伝統になりつつある活動で、生徒に浸透してきています。

<成果>

階段の踊り場に集まる生徒が多く、登下校の際に必ず目に入るので、学年間の交流が紙面上で行われ、互いに認め合う活動になっていること。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立稲井中学校

○ 私たちの取組

クリスマス会の実施

○ 取組の紹介

冬休みに生徒会執行部が主となって、企画・運営をします。事前に開催の要望があるかどうか確認し、有志を募って、お菓子づくりやスポーツ大会、クリスマスイルミネーションの点灯式などを行いました。イルミネーションの点灯式では、地域の児童クラブにも声をかけ、一緒に楽しみました。

<成果>

和気藹々とした雰囲気での会が進み、学年間や他学年との交流を深めることができたこと。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

石巻市立北上中学校

○ 私たちの取組

全校集会～いじめについて考えよう～

○ 取組の紹介

第1回は「いじめとは何か」、第2回は「いじめを防止するために」をテーマにして、いじめについて考える全校集会を開きました。

事前に生徒会執行部のメンバーが研修を行い、全校生徒にいじめや日頃の言動について振り返るきっかけになるようなショートムービーを作成しました。日常生活の中にいじめのきっかけになることがあることを全校生徒に知ってもらうことができました。

話し合いでは、全校生徒を7つの班に分け、KJ法を使って話し合いを行いました。

現在、今年度のまとめとして、北中いじめ防止4カ条「㊦㊧㊨㊩」を作成中です。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立佐沼中学校

○ 私たちの取組

朝の挨拶運動

○ 取組の紹介

週4回、昇降口で登校する生徒に大きな声で「おはようございます」と挨拶をします。挨拶はコミュニケーションを行う上で、誰もが最初に発する言葉です。日頃からこのような活動をする事で、学級などでも挨拶が活発になり、関係が薄い人との交流を図るきっかけになればと思い取り組んでいます。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立佐沼中学校

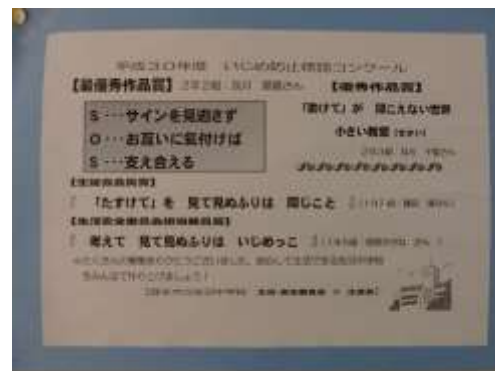
○ 私たちの取組

校内いじめ防止標語コンクール

○ 取組の紹介

生活・安全委員と協力して、全校生徒にいじめ根絶を目指して、その思いを標語にしてもらいました。その標語を、校内審査を行い、最優秀作品、優秀作品を選びました。

佐中生一人ひとりがいじめについて考える、いじめを行わない、そして自分たちでできることを考えて活動しています。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立佐沼中学校

○ 私たちの取組

いじめ CM コンクール作品応募、校内上映

○ 取組の紹介

総務を中心に、県で取り組んでいる「いじめ CM コンクール」に応募していました。今年度は、CM を作るまでの期間が短かったため断念しましたが、平成 29 年度まで応募してきました。脚本・撮影・演出・編集を生徒が行ってきました。また、全校集会時に上映をしました。

第3回みやぎ小・中学生いじめゼロCMコンクール

タイトル

「なろう！あの子のヒーローに！！！」

制作

登米市立佐沼中学校生徒会

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立新田中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止標語コンテスト」の実施

○ 取組の紹介

私たちの学校ではいじめを防止するために「校内いじめ防止標語コンテスト」を実施しました。標語を考えるにあたり、いじめフォーラム報告会と同様に“行きたくなる学校とは？”と、“そのためにできること”をテーマにワークショップを行い、グループや学級で意見を共有し合いながら標語を考えました。その中から学校代表の標語を選び、宮城県PTA連合会が共催の「いじめ防止標語コンテスト」に出品しました。

ワークショップを行ったことで、1人で考えるよりも多様な考え方に触れることができ、「行きたくなる学校づくり」について、深く考える良い機会となりました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立新田中学校

○ 私たちの取組

生徒集会での「いじめ防止標語コンテスト」優秀作品発表と、全校生徒作品の掲示

○ 取組の紹介

生徒集会を開き、「いじめ防止標語コンテスト」の優秀作品に選ばれた標語の発表を行いました。全校生徒の印象に残るようにと生徒会執行部で考え、クイズ形式にして楽しみながら発表していきました。また、選ばれた作品だけではなく、全校生徒が真剣に考えた標語をお互いに見てほしいと考え、校内に掲示しました。いじめを無くし、行きたくなる学校づくりについて様々なアイデアが出され、それを全校で共有することができ、有意義な活動となりました。標語だけでなく、実際に行動に移せるように、生徒会を中心に働きかけていきたいと思えます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立登米中学校

○ 私たちの取組

「by name」

○ 取組の紹介

- 内容 → 生徒会役員と一緒に部活動ごとに週替りで挨拶運動を行っている。その際一人一人の名前を呼んで挨拶する。
- 目的 → ・名前を覚える。
・挨拶をしやすくする。
・相手をきちんと意識し、親しみを込める。
- 現状 → ・名前を覚えられていない人がいる。
・登校した生徒がうつむいたまま、挨拶を返さないことがある。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立登米中学校

○ 私たちの取組

「いじめ防止標語」コンテスト

○ 取組の紹介

私たちの学校では、いじめについて改めて考え、いじめのない学校にするために「いじめ防止標語」コンテストを実施しました。みんなが書いた標語はすべてすばらしく、その中でも、よりすばらしい作品を各学年から選抜しました。作品はすべてホールに貼り出しました。立ち止まって見てくれる人がたくさんいるのでこれからいじめを防止するために、呼びかけをしたり、改めて考えたりしていきたいです。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立東和中学校

○ 私たちの取組

「あいさつプラスひとこと運動」

○ 取組の紹介

昨年11月の登米市のいじめフォーラム報告会を受け、私たち東和中生徒会でも「行きたくなる学校作り」について話し合い、「あいさつプラスひとこと運動」というキャンペーンを立案しました。これはあいさつの後に、できるだけ相手の様子を見て体調を気遣うことや、元気が出るような話題を見付けて声がけをすることを心掛けていこうというものです。あいさつは私たち東和中生の生活の三本柱である「あいさつ」「清掃」「集団行動」の一つとして、大切に受け継がれてきた伝統の一つです。そのあいさつに自分なりのひとことを加えてみよう。全校生徒が取組を始めています。東和中中学校を誰もが通いたくなる学校にしていくために、これからも自分たちで考え、全校に働きかけていきたいと考えています。



いじめを生まない『行きたくなる学校づくり』の取組

登米市立中田中学校

○ 私たちの取組

「オアシスプロジェクト」

○ 取組の紹介

本校では、生徒会主催の「オアシスプロジェクト」を行っています。生徒会を中心に、各学年、各クラスで、「オアシスプロジェクト」に取り組んでいます。

オアシスプロジェクトの、**オ**は「おはようございます」、**ア**は「ありがとうございます」、**シ**は「失礼します」、**ス**は「すみませんでした」と言う言葉を、普段から進んで使いコミュニケーションを活発にすることが、いじめを生まない『行きたくなる学校づくり』に大切であるという考えから、実施しています。この取組で、少しずつでも生徒の「和」と「輪」が広がることを期待しています。

7時45分～8時00分（15分間）の間に、昇降口で1日交代での「学級ごとのあいさつ運動」を行います。3年1組から始まり1年4組まで、順番にクラスごとに行います。初日は3年1組の皆さんでした。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立豊里中学校

○ 私たちの取組

あいさつ運動

○ 取組の紹介

これまでも生徒会役員によるあいさつ運動をしていましたが、生徒会のメンバーだけがあいさつ運動をするのではなく、全校生徒があいさつ運動に加わることで、学校内でのあいさつの活性化を行いたいと考えました。現在は、部活動ごとに持ちまわりで行うようにしています。今まであいさつ運動に関わっていなかった人が、関わるようになりました。そのことで、あいさつをしないことや返されないことで、相手に対しての印象がずいぶん変わることになりました。これまで生徒会活動では、部活動や委員会のメンバーが分担して取り組む活動が少なかったため、一人ひとりが学校の一員だという意識が情操され、協力して取り組む姿勢が少しずつ根付いてきています。今後も委員会や部活動ごとに役割分担してできる活動を考えていきたいと思えます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立豊里中学校

○ 私たちの取組

いじめのない学校や、自分たちの理想の学校についての発信

○ 取組の紹介

いじめは、誰にでも起こりうる問題であるという意識をもつこと、そして、学校は生徒自身が作り上げていくものだということを意識するために、「どんな学校に通いたいか?」「いじめのない学校とは何か?」を生徒会役員を中心に考え、それを掲示物などで発信していくようにしました。普段の生活の中で、友達や部活動の仲間との関係に悩んだりすることもあり、話し合いの中でより客観的に考えることができました。生徒会役員のメンバーの多くが「思いやりの心を大切にしたい」という願いをもっていました。「思いやり」の気持ちをもつためにも、学級や部活のメンバーと一緒に過ごすときは「心のこもった言葉」を使えるように努力していきたいと思えます。これらの活動を積み重ね、全校の生徒で実践できる取組を考えていきたいと思えます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立米山中学校

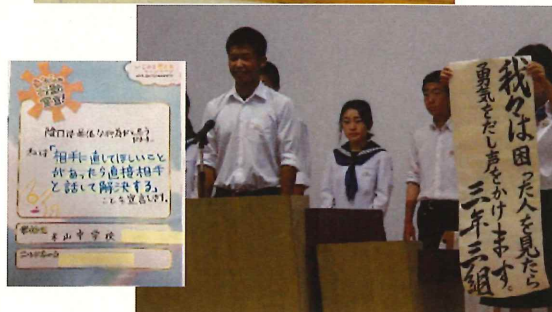
○ 私たちの取組

「いじめ撲滅運動①」いじめ撲滅のための全校生徒集会

○ 取組の紹介

※集会を行う前に道徳の授業でいじめについて考えさせた。

- (1) 生徒集会で生徒会本部役員と2年生の有志で寸劇を行い、いじめの具体例について解説した。
- (2) 学級委員が中心となって、NHKのテレビ番組「いじめをノックアウト」で企画されていた「いじめ撲滅行動宣言（個人）」と生徒会で企画した「いじめ撲滅学級スローガン」について各クラスごとに話し合わせ、全校で発表させた。
 - ・話し合いでは、いじめの要因となる要素を洗い出し、学級の課題についても考えさせた。
 - ・全学級の共通の表現として、「～しません」という宣言ではなく、「～します」というような前向きで肯定的な宣言とした。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立米山中学校

○ 私たちの取組

「いじめ撲滅運動②」いじめ防止標語コンクール

○ 取組の紹介

- (1) 個人でいじめ防止の標語を考えさせ、学年で4作品を選出し校内で表彰した。
- (2) 選出された作品を全国いじめ防止標語コンクールへ応募した。

※米山中学校生徒会では、これ以外にも“あいさつ運動の活性化”や“意見箱の設置”，“校内美化コンクール”等を実施し、行きたくなる学校づくりを目指している。

<校内最優秀作品>

～目配り・気配り・思いやり～
あなたの言葉が 笑顔が変わる



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立石越中学校

○ 私たちの取組

全校生徒による「先行あいさつ」運動

○ 取組の紹介

石越中学校では全校生徒が登校時に部活動単位であいさつ運動に取り組んでいます。

生徒会執行部では、「いじめ防止につながる」として、これまで実施してきたあいさつ運動にプラスして「先行あいさつ」運動を始めました。

この活動は、生徒同士が自分から進んであいさつすることで明るい雰囲気を生み出すとともに、言葉をあまり交わしたことがないクラスメートや先輩、後輩ともコミュニケーションができるきっかけにしたいと考えて、いじめフォーラム後に生徒会が中心となって取り組んでいるものです。

部活動ごとに毎朝実施するほか、廊下で擦れ違うときにも「相手より先にあいさつしよう」という気持ちが広がり、自分からあいさつすることに対する抵抗感も少なくなってきました。

「先行あいさつ」が、家庭や地域でもできるように、この運動を進めていきたいと思えます。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立南方中学校

○私たちの取組

あいさつ運動の強化

○取組の紹介

火～木までの3日間部活ごとやクラスごとなど、週で交代する。
この取り組みはいじめを生まないために生徒同士で、あいさつを通してコミュニケーションを図ることが目的である。
また、西東昇降口に1枚ずつあいさつポスターを掲示し、生徒のあいさつへの意識を高めさせる。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立南方中学校

○私たちの取組

各委員会による取り組み

○取組の紹介

放送・・・毎日帰りの放送でいじめ防止の呼びかけ
広報・・・いじめ防止ポスターを掲示する
緑化福祉・・・花壇の整備→生徒のこころを穏やかに！
学級・・・各学年にレクリエーションを通して交流を深める



上記の活動などのように、年度初めに委員会ごとに「いじめのない学校をつくる取組」を考えてもらい、生徒会を中心に全校生徒で取り組んでいる。

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立津山中学校

○ 私たちの取組

津山中学校 第2回 いじめ防止標語コンテスト

○ 取組の紹介

- ・ いじめ防止標語コンテストを開催しています。先生方に協力してもらい、道徳の授業でいじめについて考えた後に、いじめ防止標語を生徒一人一人が作成しました。
- ・ 作成したいじめ防止標語は、生徒会執行部で模造紙に貼り付けて、掲示しました。
- ・ 投票用紙を生徒一人一人に配り、各学年で1名良いと思う作品を選んで投票してもらいました。
- ・ 開票後、掲示物に金賞、銀賞、銅賞のシールを貼り、賞に選ばれた生徒については、生徒会執行部が生徒集会で表彰しました。
- ・ 賞に選ばれた生徒の作品は、いじめ防止標語コンテスト実行委員会事務局で実施している、第12回「いじめ防止標語コンテスト」に申し込みました。



いじめ防止標語コンテストの様子

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

登米市立津山中学校

○ 私たちの取組

いじめゼロ宣言の作成・掲示

○ 取組の紹介

- ・ 平成30年度「みやぎ小・中学生いじめ問題を考えるフォーラム」を受けて、いじめについて津山中学校としての考えをまとめ、生徒会としての方針を作りました。
- ・ はじめに、いじめを生まない「行きたくなる学校」について生徒一人一人が考えました。
- ・ アンケートを受けて、学級での話し合い活動を行いました。1・2年生は津山中の良い所と直すべき所について、グループごとに考えました。その後、具体的にどんなことをしたら、いじめのない学校になるかを考え、クラスごとに意見をまとめました。3年生はこれから津山がどんな学校になってほしいかを考えました。
- ・ その後、学級で出た意見をまとめ、生徒会執行部でいじめゼロ宣言を作成しました。
- ・ いじめゼロ宣言を受けて、生徒一人一人が宣言書に「私にできること宣言」を記入しました。記入後は、常に意識をして生活するために、廊下に掲示をしました。



学級での話し合いの様子

(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立矢本第一中学校

○ 私たちの取組

文化祭での3学年ステージ発表

○ 取組の紹介

2年前から、文化祭での3学年ステージ発表を行っています。本年度の発表は、ミュージカル映画「The Greatest Showman」に挑戦しました。

この作品は、仲間、差別や偏見、希望と絶望、信頼と裏切りなど様々なメッセージが詰め込まれており、感動的な素晴らしいものです。

主人公役の生徒が最後に言ったセリフは「誰もが持っている素晴らしい個性に自信と誇りを持ち互いに支え合い、認め合い、協力して、生きていきたい。差別や偏見を許さない、誰もが安心して生活できる世界を、私たちがつくりたいと思います。」でした。3年生一人一人の頑張りりと、熱いメッセージは、全校生徒や保護者、地域の方々の心に響きました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立矢本第一中学校

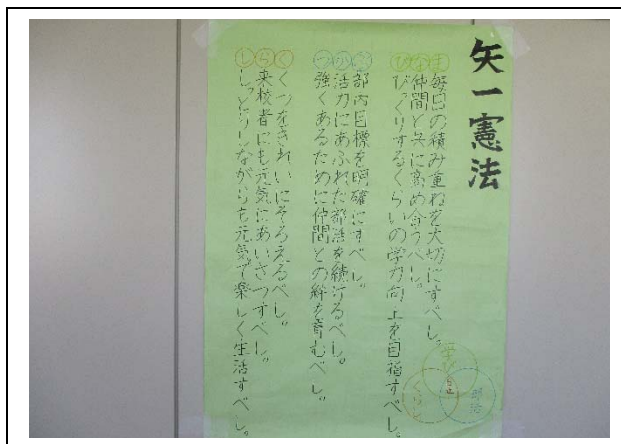
○ 私たちの取組

「矢一憲法」の制定

○ 取組の紹介

生徒会役員選挙に立候補した生徒が、「矢一憲法を作り、より良い学校生活に導きたい」という公約を立てました。その公約を実現させようと新生徒会執行部が議論を重ね、遂に「矢一憲法」を定めることができました。

「矢一憲法」とは、生徒の規律を向上させるために「まなび」「ぶかつ」「くらし」の3つの柱を立てて作った9つの約束です。「矢一憲法」を守ることによって「自立」する生徒になってほしいという思いが込められています。また、「矢一憲法」の中に「仲間と共に」や「仲間との絆」という言葉を入れました。学校全体が団結し、学校生活を通して多くのことを学び、互いに成長できるように取り組んでいきたいと思っています。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

○ 私たちの取組

小中連携のあいさつ運動

東松島市立矢本第二中学校

○ 取組の紹介

中学生が小学校に行きあいさつ運動を行いました。あいさつにより中学生との交流をすることで、中学校生活への不安を解消したいと思いました。早く中学校にいきたいと思ってもらえるように取り組んでいきたいです。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

- 私たちの取組
2の日運動

東松島市立矢本第二中学校

- 取組の紹介

矢本二中では2の日運動という取組をしています。今回は部活動ごとに学校の敷地内や地域の公園に行き、ゴミ拾い活動をしました。地域がきれいになる他にも先輩、後輩の絆づくりや部活動内での居場所づくりもでき、どの部活動も懸命に活動していました。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

○ 私たちの取組

心あったかイートころ実践発表会

東松島市立矢本第二中学校

○ 取組の紹介

矢本第二中学校学区内の小学生が集まり
さまざまな取組の発表会を行いました。
小学校と中学校が連携し、お互いの活動
を知ることによって、更に活動内容を深
めることができました。また、小学生に
中学生が行っている取組を知ってもら
ういい機会になりました。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立鳴瀬未来中学校

○私たちの取組

「全校挨拶運動」

○取組の紹介

これまで生徒会執行部員が行っていた挨拶運動を全校で行おうと生活委員会が発案しました。「明るく、元気な挨拶の飛び交う学校にしたい」という思いから話し合いを重ねました。生活委員会だけが朝に呼びかけても効果はない。やるならば全員が参加できる形にしたいと思い、学級ごとに昇降口で挨拶運動を行う事にしました。月曜日は1年1組、火曜日は1年2組というローテーションを組み、朝7時50分から8時5分までの15分間行う事にしました。全員が挨拶運動に立ち、さわやかな挨拶ができるようにしたいと考えました。

5月から取組を始めました。最初は各学級全員集まるのが難しく定着までは時間がかかりましたが、今では暑い日でも寒い日でもどこかの学級が昇降口に立っていることが当たり前となりました。全校挨拶運動を行い始めての成果としては、学級のつながりが強くなったことです。明日の挨拶運動のために全員集まるようにみんなで連絡を取り合うことも多くなり、学級の一員として自覚も高まってきたように感じます。朝から元気に挨拶運動をすることで学校が明るくなってきたように感じます。



いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

東松島市立鳴瀬未来中学校

○私たちの取組

全校球技大会「キンボール大会～オムニキン!～」

○取組の紹介

「キンボール大会」は3学年学級委員会が企画して行いました。全校で何かの活動を行いたい。そして、自分たちが3年間で学んできた“仲間と頑張ることの素晴らしさ”を1・2年生に継承したいという思いから始まりました。なぜキンボールだったのかというと、バレーやバスケットでは得意不得意があり、みんなで楽しめないという意見があり、年齢に関係なく誰でも楽しむことができ、みんなで盛り上がるができることからキンボールを選びました。試合方法は3チームずつ戦い、トーナメント方式で行うようにしました。

やってみて、とにかくみんなで楽しく活動できたという感想をもっています。1～3年生の選手も応援している人も全員で盛り上がる事ができました。なによりも、学級対抗で行ったことで学級の団結力が高まったように感じました。

笑顔で楽しんでくれているのを見て企画してよかったと思いました。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

女川町立女川中学校

○ 私たちの取組

「ハイタッチ運動」

○ 取組の紹介

生徒登校時に生徒会執行部が昇降口に並び、挨拶といっしょにハイタッチをする活動。ハイタッチするときには自然と笑顔になるので、生徒同士が笑顔で昇降口を通過していく。初めは恥ずかしがっていたが、元気にハイタッチを返してくれる生徒も増えた。朝から明るく話す人が増えた。



(様式) いじめを生まない「行きたくなる学校づくり」の取組

女川町立女川中学校

○ 私たちの取組

「おもいやりメッセージ」の掲示（2年生）

○ 取組の紹介

日常の学校生活の中で、友達がほかの人や学級のために行っている行動を紙に書き、掲示しながら増やしていく。友達の良い面が見えるようになり、これまであった暴言やからかいが減った。

